

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目1

【地域に根ざした活動の活性化(地縁型団体)(区政編 改革の柱1 II-ア)】
自治会・町内会単位の活動への支援

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) 地域コミュニティの活性化に向けて、身近な単位である自治会・町内会単位の活動への支援を行う。</p> <p>(取組の概要) ①・つながりづくりの基盤となる自治会・町内会単位の活動について、課題やニーズの実態を把握し、活動を支援する。</p> <p>(目標) ○自治会・町内会単位の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合 68.2%</p>	<p>(取組の内容) ①・各種団体と、地域でのつながりづくりについての意見交換を行い、課題やニーズの実態を把握する。(年1回以上)</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須 ・各種団体の総会等に出席し、課題やニーズの実態把握(5月～7月) ・自治会・町内会単位の活動支援の効果的な手法について、下半期に他区他都市等の先行事例を参考に取組み実施予定。
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成	

取組項目2

【地域に根ざした活動の活性化(地縁型団体)(区政編 改革の柱1 II-ア)】
担い手不足の解消

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) 子育てや高齢者への支援、地域の安全・安心の確保、まちの美化、地域の魅力創出など、多様な分野における地域活動について、担い手不足の解消を進めることで活動の活性化をめざす。</p> <p>(取組の概要) ①地域リーダーの活躍促進 ・活動の担い手になることを期待して養成してきた地域リーダーなどの人材を改めて把握し、既存のリーダー養成の仕組みで形骸化しているものがあれば見直しを行ったうえで、本人の意向に基づき活躍の場につなぐ取組を実施する。</p> <p>②気軽に活動に参加できる機会の提供 ・高齢者や子どもの居場所づくりなど、誰もが気軽に参加できる場の情報など、活動のきっかけとなる情報の収集・発信について、毎年度、各区において具体的な指標と目標を設定し、市民活動への参加を呼びかける。</p> <p>(目標) ○ 地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合 27%</p>	<p>(取組の内容) ①地域リーダーの活躍促進 ・関係部局と連携し、本人の意向に基づき活躍の場につなぐ取組を実施する。(取組の検討のために関係部局と連携した件数1件以上)</p> <p>②気軽に活動に参加できる機会の提供 ・区民だより「よどマガ!」や区役所HP、SNS、地域の掲示板等、あらゆる広報媒体を活用した情報発信により、身近な地域や関心のあるテーマへの市民活動への参加を呼びかける(随時)</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須 ・今後も継続して、区民だより「よどマガ!」や区役所HP、SNS、地域の掲示板等、あらゆる広報媒体を活用した地域情報発信予定 ・若年層の地域活動参加意識について、アンケート調査実施予定(9月)
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	<p>①: 目標達成 ②: 目標未達成</p>		

取組項目3

【地域に根ざした活動の活性化(地縁型団体)(区政編 改革の柱1 II-ア)】
負担感の解消及び活動の充実

取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
<p>(趣旨・目的) 子育てや高齢者への支援、地域の安全・安心の確保、まちの美化、地域の魅力創出など、多様な分野における地域活動について、それぞれの活動の範囲やステージに応じた支援を行う。 地域の方々が感じている「やらされ感」「負担感」を解消し、問題意識や意欲をもって活動していただけるよう、委嘱する活動内容を見直し地域の実態に即したものとしていくとともに、補助金を出すことによって具体的な活動内容まで指定してお願いしているものではないことをしっかりと説明し理解していただく。</p> <p>(取組の概要) ① 委嘱制度の再検討 ・委嘱による活動内容が地域実情に即したものとなるよう再検討したうえで、委嘱する市民の方に委嘱の趣旨・目的をしっかりと理解していただくための取組を進める。 ・委嘱にあたっては、一人に多くの委嘱をすることがないように配慮する。 ② 補助金についての理解促進 ・補助金を出すことによって具体的な活動内容まで指定しているものではないことについて、地域活動協議会の会議の場などで説明を行うなど、地域活動協議会のメンバーの理解促進を図る。 ③ 活動の目的の再確認 ・各団体に対して、活動が形骸化することのないよう活動目的を改めて確認する機会を作るなどの支援を行う。 ④ 市民活動総合ポータルサイトの充実 ・身近な地域課題に取り組む団体などの運営に関する情報を一元的に発信する「市民活動総合ポータルサイト」に、各団体の登録及び積極的な活用を促す。 ⑤ 活動への参加促進 ・各団体の活動が持続的なものとなるよう、誰もが気軽に参加(短時間や短期間だけ活動に参加)できるための仕組みや工夫に関する情報を提供するなどの支援を行う。</p> <p>(目標) ○ 各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 50%</p>	<p>(取組の内容) ① 委嘱制度の再検討 ・関係部局と連携し、委嘱する区民の方に委嘱の趣旨・目的をしっかりと理解していただくための取組を進めるとともに、一人に多くの委嘱をすることがないように配慮する。(委嘱制度の検討のために関係部局と連携した件数1件以上) ② 補助金についての理解促進 ・中間支援組織(まちセン等)と連携し、地域活動協議会補助金について、地域活動協議会意見交換会等で説明を行い、理解促進を図る。(地域活動協議会補助金の趣旨について、地域活動協議会意見交換会等の場などで説明を行った回数 : 18地域活動協議会に対して年1回以上) ③ 活動の目的の再確認 ・各種団体との意見交換を通じて活動目的の再確認を行なうなどの支援を行う。(各団体に対して、活動が形骸化することのないよう活動目的を改めて確認するきっかけとなる機会を作った回数 : 各団体年1回以上) ④ 市民活動総合ポータルサイトの充実 ・市民活動総合ポータルサイトの利用啓発および団体登録促進を行う。(18地域活動協議会およびテーマ型団体10団体以上に年2回以上) ⑤ 活動への参加促進 ・中間支援組織(まちづくりセンター等)と連携し、先行事例の情報提供等の活動支援を行う。 (18地域活動協議会および各種団体に対して年6回以上行うとともに、各団体に対し、短時間や短期間だけ活動に参加できるなど、誰もが気軽に活動に参加できるための仕組みや工夫に関する情報を提供する回数をそれぞれ年1回以上)</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	(i) ① 実施見込み (ii) ② 実施できない見込み	・補助金についての理解促進及び活動の目的の再確認説明会を下半期に実施予定
	① ① 達成見込み ② 達成できない見込み	・中間支援組織(まちづくりセンター等)と連携し、先行事例の情報提供等を目的とした「まちセン通信」を上半期2回(5月・8月)、下半期2回発行予定

当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
<p>①: 目標達成 ②: 目標未達成</p>	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目4

【地域を限定しない活動の活性化(テーマ型団体)(区政編 改革の柱1 II-I)】

取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
<p>(趣旨・目的) 活動圏域を限定せず、地域社会の課題に取り組むテーマ型団体に対しては、「市民活動総合ポータルサイト」を活用するなど「IV多様な市民活動への支援メニューの充実」で整理する支援メニューの情報を適切に提供することで、活動の活性化の支援を充実させる。 また、区とテーマ型団体との接点が増加するよう職員意識の向上に取り組む。</p> <p>(取組の概要) ① テーマ型団体への支援窓口の活用 ・多様な活動主体間の交流の場への参画などにより、テーマ型団体とのつながりをつくるとともに、「市民活動総合ポータルサイト」の活用などにより、テーマ型団体も対象とした支援情報の提供ができる窓口を活用する。</p> <p>(目標) ○ 各区の市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数 8件</p>	<p>(取組の内容) ① テーマ型団体への支援窓口の活用 ・中間支援組織(まちづくりセンター等)と連携し、テーマ型団体同士の交流会(年2回以上)の実施や、「市民活動総合ポータルサイト」を活用した助成金情報や講座情報の情報発信(年5回以上)を行う。</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期の市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数: 4件 ・テーマ型団体同士の交流会: 下半期2回実施予定
	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	

当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
<p>①:目標達成 ②:目標未達成</p>	

取組項目5

【地域活動協議会への支援(区政編 改革の柱1 Ⅲ-ア)】

① 活動の活性化に向けた支援(準行政的機能の趣旨についての理解度向上)

取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
計画	<p>(趣旨・目的) 地域活動協議会に対して「準行政的機能」が求められることについて、地域住民の理解が深まるよう働きかける。</p> <p>(取組の概要) ①地域活動協議会に期待する準行政的機能の趣旨についての理解度向上 ・地域活動協議会に期待する準行政的機能について、地域を担当する職員全員を対象にeラーニングの実施などにより改めて職員の理解を促進するとともに、地域活動協議会の役員や構成団体の方をはじめ地域住民の理解が深まるよう引き続き機会あるごとに積極的に発信する。</p> <p>(目標) ○ 地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合 81%</p>	<p>(取組の内容) ・地域担当職員全員がeラーニングを受講する。 ・地域活動協議会意見交換会等様々な機会を活用し、地域活動協議会構成団体に対して周知を行う。(年2回)</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員全員eラーニング受講済(6月) ・下半期に、地域活動協議会に求められている準行政的機能を周知予定

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
			<p>①: 目標達成 ②: 目標未達成</p>

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目6

【地域活動協議会への支援(区政編 改革の柱1 Ⅲ-ア)】
② 総意形成機能の充実

取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
<p>(趣旨・目的) 地域活動協議会が総意形成機能を期待されていることについて、構成団体はもとより、地域住民の理解が深まるよう働きかける。 総意形成機能を発揮するために地域活動協議会が備えておくべき要件が、継続して満たされているかどうかについて、定期的に確認する。</p> <p>(取組の概要) ① 地域活動協議会の認知度向上に向けた支援 ・地域活動協議会の認知度が低い原因を分析したうえで課題を抽出し、地域カルテに記録する ・各地域の課題に応じ、学校との連携やICTなども活用しながら、認知度向上に向けた効果的な支援を行う ② 地域活動協議会に期待する総意形成機能の趣旨についての理解度向上 ・地域活動協議会が総意形成機能を期待されていることや、そのために必要な要件について、地域を担当する職員全員を対象にeラーニングの実施などにより改めて職員の理解を促進するとともに、役員や構成団体はもとより地域住民の方の理解が深まるよう機会あるごとに積極的に発信する。 ③ 総意形成機能を発揮するために備えておくべき要件の確認など ・大阪市として、地域の総意を求める際には、地域活動協議会に積極的に求めていく必要があるため、地域活動協議会において、総意形成機能を発揮するために備えておくべき要件を満たしているか、行政として定期的に確認するとともに、必要に応じて、各地域活動協議会への支援や関係規定の整備などを行う。</p> <p>(目標) ○総意形成機能を認識している地域活動協議会の構成団体の割合 68.0%</p>	<p>(取組の内容) ① 地域活動協議会の認知度向上に向けた支援 ・中間支援組織(まちづくりセンター等)と連携し、区民だより「よどマガ!」や区役所HP、SNS、地域の掲示板等あらゆる広報媒体を活用して地域活動協議会の認知度向上に資する情報発信を行う。(地域活動協議会を知っている区民の割合40%をめざす) ・区役所1階「地域情報コーナー」という専用の配架棚を設け地域行事等のチラシを随時配布する。 ② 地域活動協議会に期待する総意形成機能の趣旨についての理解度向上 ・地域担当職員全員がeラーニングを受講する(地域担当職員のeラーニング受講率100%かつ理解度全員95点以上をめざす) ・地域事業や地活協意見交換会などの機会を活用し、役員をはじめ地域住民の理解が深まるよう、積極的に情報発信する。(18地域) ③ 総意形成機能を発揮するために備えておくべき要件の確認など ・地域会議で住民同士が意見を調整し、総意として意思決定が行われ、決定内容が責任をもって周知されているか、地域担当が情報収集する。(年10回以上) ・地域活動協議会が総意形成機能を発揮するために備えておくべき要件について定期的に確認する。(年1回以上)</p>

取組内容の実施見込み	(i)	(i) 実施見込み (ii) 実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
目標の達成見込み	①	①: 達成見込み ②: 達成できない見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・区広報誌にて「地活協ってな〜に？」連続記事掲載 ・下半期に、総意形成機能について各地域活動協議会に対し周知予定 ・地域担当職員全員eラーニング受講済(6月) ・地域担当職員による地域会議出席を通じた情報収集実施済(全18地域) ・下半期に、地域活動協議会が総意形成機能を発揮するために備えておくべき要件について確認予定

当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
<p>自己評価</p> <p>①: 目標達成 ②: 目標未達成</p>	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目7

【多様な市民活動への支援メニュー（区政編 改革の柱1 IV-ウ）】
市民活動の持続的な実施に向けたCB/SB化、社会的ビジネス化の支援

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) 持続的な活動のための財源確保の手法としてのCB/SB化、社会的ビジネス化を的確に支援する。</p> <p>(取組の概要) ① CB/SB化、社会的ビジネス化、助成金等の活用支援 ・市民活動の持続的な実施に向け、CB/SB化、社会的ビジネス化、助成金等の活用支援を行う。</p> <p>(目標) ○各区が関与したCB/SB企業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数 2件</p>		<p>(取組の内容) ① CB/SB化、社会的ビジネス化、助成金等の活用支援 ・地域資源を活用したコミュニティ回収、社会的ビジネス化の仕組みを提案する。(提案件数 3件) ・多様な活動団体が自律的に課題解決を行うことを目的とした、助成金等活用支援を行う。(活用事例 10件)</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ回収提案中地域:1地域 ・ペットボトル回収提案中地域:4地域 ・上半期民間助成金活用支援:5件 ・下半期に地域課題解決補助金募集予定:予定数5件

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	<p style="text-align: center;">①:目標達成 ②:目標未達成</p>		

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目8

【「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進（区政編 改革の柱2 I-I）】

	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
計画	<p>(趣旨・目的) 職員や校長が分権型教育行政(*)の制度や趣旨に基づいて業務を進めることで、「ニア・イズ・ベター(*)」に基づく分権型教育行政の効果的な推進を図り、学校や地域における教育の活性化につなげる。</p> <p>(取組の概要) ・分権型教育行政の効果的な推進に向けて、分権型教育行政の理解促進に向けた取組等、具体的な取組を進める。</p> <p>(目標) ○ 自校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合:40% ○ 委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員の割合:84% ○ 区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「淀川区子ども教育会議(保護者・区民等の参画のための会議)」の委員の割合:100%</p> <p>*「分権型教育行政」:校長の裁量を拡大するとともに、区担当教育次長(区長兼務)による学校支援を可能とする仕組み *「ニア・イズ・ベター」:住民に近いところで行われる決定ほど望ましいという地方分権の考え方</p>	<p>(取組の内容) ・分権型教育行政の枠組みを活用した各種施策(ヨドネル、ヨドジュク、体力づくり支援事業等、淀川漢字名人育成計画)を、担当職員各自が教育委員会事務局兼務職員であることを自覚し、制度・趣旨理解の下に、小中学校との連携により展開する。 ・区教育行政連絡会において、小中学校長とともに分権型教育行政の枠組みに沿った施策立案に向けた検討を行う。 ・学校協議会の活性化に向けた補佐を行う。 ・「淀川区子ども教育会議(保護者・区民等の参画のための会議)」において、分権型教育行政の枠組みに沿った施策にかかる学校との検討状況を伝え、意見聴取する。</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	<p>・各学校協議会をさらに活性化させるため、学校協議会委員初任者対象の研修を開催し、分権型教育行政の仕組みや、各学校で策定する「運営に関する計画」についての説明を行い、保護者や地域住民などの意向が学校運営に反映されること等を目的とした学校協議会での議論参画を促す。</p>

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成	